

- 6 学術の発展, 社会の発展の基盤となる人材の育成は, 科学者が地域的に協力して取り組むべき課題である。次世紀に向けて, 人材の育成のため, アジアの科学者も協力することが必要である。
- 7 各科学者及び各国は, 研究者の交流, 共同研究, シンポジウム, ワークショップ等による情報の交換を促進するよう努力することが必要である。
- 8 学術協力は, 対等互恵の原則に基づいて行われねばな

らない。

- 9 本会合の趣旨, 提案を受け継ぎ, より密接な学術交流・協力の基盤となる将来の会合が開かれることを期待する。
- 10 アジア地域の科学者によるこのような会合を毎年開催すること, 当面, 日本学術会議がその事務局となること, アジア地域の学術動向についてのニューズレターを定期的に発行することを提案する。

月報だより

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1)所属部門・所属講座, (2)勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1)着任時期, (2)任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1)提出先, (2)問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台地球回転研究分野教員

1. 教授または助教授 1 名
2. (1)地球回転研究系
(2)岩手県水沢市
3. 地球力学
- 4 地球および惑星の構造と力学に関する理論的もしくは観測的研究を独創的にすすめる能力をもつ研究者を希望します
5. (1)決定後なるべく早い時期
(2)外国籍の場合は, 任期を設けることがあります
6. 博士の学位を有する者またはそれと同等以上
日本語もしくは英語を話せること
7. ①履歴書 ②研究歴 ③研究論文リストおよび主要論文別刷 ④研究計画 ⑤本人について意見を述べられる 2 名の氏名および連絡先 ⑥応募職種 (教授, 助教授の別)
8. 平成 6 年 7 月 20 日 (水) 必着
9. (1)〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2)〒 023 岩手県水沢市星ヶ丘町 2-12
国立天文台地球回転研究系
横山紘一
電話: 0197-22-7132, ファックス: 0197-22-7120
10. 封筒の表に「地球回転分野応募書類」と朱記し, 簡易書留でお送りください
11. ①選考は国立天文台運営協議員会において行いま

す

②国立天文台の停年は 60 歳です

(上記の英文)

SENIOR FACULTY POSITION IN GEODYNAMICS (READVERTISEMENT)

Earth Rotation Division, National Astronomical Observatory, Japan

Call for application to this position was made with the due date of 28 December 1992 and a final candidate was selected. However, the candidate was not able to take the position due to personal reasons. Hence this position is readvertised for applications.

Applications are invited for a position of professor or associate professor of geodynamics at Earth Rotation Division of National Astronomical Observatory (NAO), Mizusawa, Iwate, Japan. The candidate should have a PhD or an equivalent qualification with proven capability to do research in theoretical and/or observational studies on the structure and dynamics of the Earth and planets. The working language is Japanese or English. A contract for a limited-term appointment may be made with the successful applicant with non-Japanese citizenship according to the Japanese Regulations for Civil Servants. Retirement age at NAO is 60 years old. Applications with curriculum vitae, description of previous research activities, list of publications with reprints of major scientific papers, research plans at NAO, and two professional references, specifying the rank of the applied post (professor or associate professor), should be sent to Keiichi Kodaira, the Director General, National Astronomical Observatory, 2-21-1, Osawa, Mitaka, Tokyo 181, Japan by 20 July 1994. For further information, please contact Koichi Yokoyama, the Chairman of the Earth Rotation Division, NAO, Mizusawa, Phone: 81-197-22-7132, Fax: 81-197-22-7120, E-mail: yoko@gprx.miz.nao.ac.jp. Advisory Council for Research and Management of NAO is responsible for selection.

宇宙科学研究所教員

1. 助教授 1名
2. (1)共通基礎研究系 宇宙空間原子物理学部門
(2)相模原市由野台宇宙科学研究所
3. 当研究所では、宇宙圏研究系(X線, 赤外線など)、太陽系プラズマ研究系、惑星研究系があり、宇宙科学における実験的、観測的研究が行われています。これらの研究にも興味を持ち、関連した宇宙空間物理現象を理論的に解明する研究を行う方で、大学共同利用機関である本研究所の職務を理解し、共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たしていただける方を希望します。尚、当該部門には現在、市川行和教授、崎本一博、市村 淳助手により原子分子過程の理論的研究が行われています。
5. (1)決定後、できるだけ早い着任を希望します。
6. 特になし
7. ①略歴 ②研究歴 ③論文リスト及び主要論文の別刷り ④研究計画書(自薦の場合) ⑤他薦の場合、推薦書2通、自薦の場合、本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 1994年7月31日(日)必着
9. (1)〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
電話(代表)0427-51-3911
(2)共通基礎研究系主幹 奥田治之 内線2601
FAX. 0427-59-4253
10. 封筒の表に「助教授応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい。
11. 選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会において行います。応募者に適任者がいない場合には決定を保留することがあります。

研究助成

1994年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「研究助成」について

日本天文学会へ、標記の「賞」および「研究助成」の推薦依頼がまいりましたのでお知らせ致します。

三宅賞

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)とします。
4. 規定の用紙に授賞候補者の推薦対象となる研究科

目、推薦理由(400字程度)、主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球科学の研究者で、海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者、ならびに海外における学術調査研究などに参加する者に対して行われます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 規定の用紙に推薦候補者(各締切日において満40才迄とする)のシンポジウム出席については略歴、研究業績、国際会議名(主催団体、開催場所、開催年月日)、論文題目、推薦理由等を、海外学術調査に関しては、略歴、研究業績、調査地(国名、地域名)、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入して協会事務所までお送り下さい。

三宅賞の贈呈および研究助成者の発表は、1994年12月3日(土)、東京で行います。

学会締切日：三宅賞は、1994年8月15日、研究助成は、第1回締切1994年8月15日、第2回締切1995年1月15日。

申込用紙は天文学会事務室に用意してあります。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

電話 03-3330-2455 (FAX 兼用)

研究会・集案案内

第3回全国の天体観測施設の会開催のお知らせ

西はりま天文台で第1回のミーティングが開かれた全国の天体観測施設の会は、昨年、国立科学博物館で第2回を開催し、約80名の参加者がありました。今年、美星天文台を会場にして、多くの人々に親しまれる天文普及施設としても、天体観測施設としてもそれぞれの施設の活動を盛り上げるために情報交換をしたいと思えます。多くの天体観測施設からの御参加をお待ち申し上げます。

全国の天体観測施設の会(事務局：国立科学博物館(東京都))と美星天文台の共催

開催日 平成6年6月13日(月)~15日(水)

場所 美星天文台(岡山県小田郡美星町大倉) 研修室
プログラム案

13日(月)

午後：記念講演 向井 正氏(神戸大学理学部教授)

セッション1 “天文現象への取り組み（観望・研究）”

シューメイカー・レビー彗星の木星衝突
日食、月食、星食など

夜：懇親会と美星天文台 101 cm 望遠鏡見学
14 日(火)

午前：セッション2 “CCD の活用”

話題提供とデモンストレーション
岡野邦彦：展示のための CCD 画像処理
時政（西はりま）：測定のための CCD 画像処理—
“西はりまイメージ” 最新版

午後：セッション3 “アイディア紹介”

各地の施設で実践している、展示、観望会、観測、
地域・アマチュアとの関係、友の会活動などでの
さまざまな工夫・アイディアを紹介

15 日(水)

午前：セッション4

電話回線を利用した天文情報公開に向けて
セッション5

新設公共天文台のためのガイドライン

プログラムの各セッションでの話題提供を募集しま
す。特にセッション3で、今、みなさんが実践中のさま
ざまな工夫、アイディアを紹介して下さい。

問合せ先：〒714-14 岡山県小田郡美星町大倉
1723-70

美星天文台 綾仁一哉

FAX: 0866-87-4224

会場の都合上、参加申込を希望される方は、至急美星
天文台までお問い合わせ下さい。

会務案内

理事会・評議員会だより

日本天文学会理事会

日時 1993年3月26日(土) 13:00-17:00

場所 国立天文台講義室

出席 有本、石附、井上、内田、戎崎、太田、大橋、亀
谷、唐牛、沢、谷川、常深、中野、半田、福島、
渡邊

議長 内田理事長

前理事会以降の会務報告

1. 会費の改訂に関する件は1月14日の評議員会で承認された。
2. 1994-1998年度の評議員選挙が行われた。また第16期学術会議会員候補者の選挙を行った。
3. 年会実行委員会で春季年会の講演形態の議論を中

心に年会講演の方法に関して多くの議論を行った。

議事

1. 総会・評議員会報告事項について
 - A. 天体発見賞、研究奨励賞、早川基金助成
 - I. 平成5年度会務報告
 - U. 平成5年度会計報告
 - E. 平成6年度事業計画、予算案
2. 春季・秋季年会について
 - A. 春季年会：年会実行委、またポスター発表の拡充に関する実務理事の提案は昨年8月の理事会で行われ、これまでの経緯についての報告があった。年会実行委の決定を承認した。年会会場でのアンケートまた総会で会員の意見を集約して秋季以降の年会に反映させることとした。
 - I. 秋季年会は10月に北海道大学で予定している。
 - U. 1995年度は春季を東京学芸大周辺で、また秋季を新潟大で計画している。1996年の春は京阪神、特に京大中心になるのではないかという議論がなされた。また、1996年の秋季に韓国天文学会と合同でソウルでの開催を検討している旨報告があった。
3. その他：科研費委員の推薦方法に関して改善案が出された。

日本天文学会評議員会

日時 1994年4月16日(土) 13:30-16:30

場所 国立天文台講義室

出席 池内、内田、奥田、海部、加藤、古在、小平、祖父江、田原、野田、福井、堀、若松各評議員、他に理事会から中野副理事長、松本副理事長、渡邊、唐牛、戎崎、井上、半田各理事

議長 小平評議員

諸報告

1. 第16期学術会議会員(杉本大一郎氏)の認定連絡があった。前回の評議員会における会員候補の数に関する説明を訂正・補足したが、更に再確認を行う。
2. 平成6年度春季年会の開催に関して、その講演方法の変更を行った。
3. 海外会員の会費等の納入がクレジットカードで行えるようになった。
4. 定款ワーキンググループのメンバーを改訂し、再活性化した。

議事

1. 総会提出議案について

1. 1993年天体発見賞候補者について：天体発見賞6名の候補者を決定し、総会へ提出するが、目下天体発見賞、発見功労賞を審議中である。
2. 第5回研究奨励賞候補者について：選考委員会の

- 結果、該当者がなかったこと、秋の年会に授与できる
よう再審議し決定したいことを総会に報告する。応募
方法、若い人の業績の評価についての議論があった。
3. 平成5年度会務報告：承認の後、総会に提出する旨
了承された。
4. 平成5年度会計報告・会計監査報告：承認された。
5. 平成6年度事業計画・予算案：PASJのページ数に
ついて補足説明があり、内部努力を検討するよ
うにとの意見と議論があった。予算案を承認。
6. 新評議員候補者：天文月報4月号に結果発表して
いる。重任7位、当選15位で抽選を行った。総会の承認
を得る旨了承された。
7. 年会プログラム案について：年会の性格について
(会員全員が参加できる)アンケートが必要。5-7分
の口頭発表にメリットがある、研究会と学会の振り分け
が必要という意見があった。秋の日程は3日間3セッ
ションで開催する旨、また来年度春季年会の3月開催
の可能性を検討する旨了解を得た。
2. 特別会計の取扱いについて
特別会計に関する問題点を指摘し、次回以降検討する
こととした。
3. その他
会費未納者の除名について：気の付いた方への連絡・
確認の後、定款にもとづいて除名することで承認され
た。

銀行自動引き落としを申し込まれた会員の方々へ

1. 預金口座振替申込書を提出されることによってそ
の方の天文学会会員会費は、ご連絡がない限りそれま
での会員種別のまま、自動的に毎年度当初に引き落と
されます。
- 特別会員から通常会員〔特〕→〔通〕或いは通常
会員から特別会員〔通〕→〔特〕への移籍を希望さ
れる方は、必ず毎年2月10日までに天文学会へご
連絡下さい。
- (特に年度途中の〔特〕→〔通〕への移籍は従来
どおり、いかなる場合も認められませんのでご留意
下さい)
- 新年度も続けて特別会員(学生)を希望される方
も、毎年2月10日までに学生申請書を提出して下
さい。
- 申請のない場合は、特別会員(一般)の会費納入
として処理いたします。
- (年度途中の〔特・一般〕→〔特・学生〕への移
籍は認められません)
2. 次年度以上の会費前払いはできません。

3. 天文学会会員会費および年会費用のお申し込みは、
- 2月10日までのお申し込みの分については、4
月。6月10日までのお申し込みの分については、8月。8月10日
までの分については、10月。12月10日までのお申し込みの分
については、2月の各月の10日(土、日、祝祭日の場
はその翌日)に引き落とされますので、ご承知おき
下さい。
- なんらかのトラブルで上記の引落日に間に合わ
なかった場合は、別途ご連絡申し上げますが、次回
の引落日になります。
- 通帳には、「JCBフリカエ」あるいは、「JCBロー
ン」という表現で記入されます。天文学会会員会費
の引き落としについては、今のところ領収連絡は省
略させていただいておりますので、上記の引落日を
ご注意下さるようお願いいたします。
4. 春・秋の年会参加等の納入については、その都度お
申し込みいただくこととなりますので、その申込締切
日については「天文月報一月報だより」をご覧ください。
- 電話申込は、不正確になる恐れがありますので、
避けて下さい。
5. お問い合わせ
日本天文学会 0422-31-1359 (FAX 兼用)
または、0422-34-3648 (電話専用)

天文学会事務局 高地

訃報

1947年から8年間、日本天文学会理事としてお骨
折りいただいた佐藤友三氏には、去る5月6日夕
刻ご逝去になりましたので、謹んでご冥福をお祈
りするとともに会員の皆様にお知らせいたしま
す。(享年82歳)